

# 第 32 回日本嚙下障害臨床研究会 抄録集

会期：2021 年 7 月 3 日(土)・4 日 (日)

会場：広島県民文化ホール

広島市中区大手町 1 丁目 5-3

大会長：益田 慎 (県立広島病院小児感覚器科)

暴走アクセル：吉田光由

暴走ブレーキ：吉川峰加

(広島大学大学院医系科学研究科先端歯科補綴学)

E-mail : shomu@engeken.com

主催：日本嚙下障害臨床研究会

# ごあいさつ

## こんな時だからこそ、思い切って

第 32 回日本嚙下障害臨床研究会大会長  
(県立広島病院小児感覚器科)

益田 慎

私が新型コロナウイルス感染症を初めて知ったのは一昨年の大晦日だったと思います。その時は、中国でやばい肺炎が流行っていて大変らしい、まあでも SARS の時みたいに数ヶ月でなんとかなるだろう、ぐらいに受け止めていました。ダイヤモンド・プリンセス号が入港しても、まだどこか他人事でした。よもやこんな状況になることなんて去年の 2 月ごろまでまったく想像していなくて、2 月 14 日に広島で前田圭介先生にスタートレックの話（本当はサルコペニアの栄養管理の話）をしてもらってからの大宴会がもう異世界の記憶のように感じます。そこからわずか 1 週間後のイベントは中止になり、その後立て続けに学会や講演会が次々に延期や中止となったのは皆さんご承知の通りです。みなさんとリアルに話をする機会が本当に減りました。以前からこの研究会は懇親会を重視していましたが、「飲み会」ができないとこんなに人に会わないんだ、ということを感じた 1 年でした。

今回のパンデミックでは、それまで気にしてなかったことに制約が加わり、皆さんも仕事のあり方や生活の仕方まで変えざるを得なかったと思います。学会活動は大きく変わったことの一つですが、この研究会も今までのやり方ではできなくなっています。そこで、今回は Zoom とリアル研究会を組み合わせるハイブリッドでやってみます。他の学会と決定的に違う点は「予習」が必要だという点です。他の学会では学会終了後に発表演題をオンデマンドで視聴できますが、この研究会ではしません（するかもしれませんが、たぶんしません）。Zoom も通常ウェビナーを使って学会側が発言者のコントロールをしますが、この研究会で発言者のコントロールするのは皆さん自身です。たぶん研究会当日は「〇〇さんと△△さん、マイクをオフにしてください！」と私が叫んでいることでしょう。いろんなトラブルがあるんだろうなぁと想像していますが、それでも今回やってみます。

今回この方法で上手くできたら、来年以降も続けます。これまでであれば札幌は遠くて参加したくても参加できない、という人も Web で参加できます。そんなメリットがあります。もちろん「札幌で旨いホタテを食べるんじゃあ」という人も歓迎します。色々な立場の人が参加できる研究会であり続けたいと思います。そのためにも、是非皆さん、ご協力をよろしくお願いします。

# プログラム

7月3日 土曜日

【初心者講習】 11:00~12:00

座長： 吉川峰加（広島大学）

基礎講座「VF から考える摂食嚥下障害患者へのアプローチ」

福岡達之（広島国際大学）

開会・大会長挨拶 12:55~13:00

【第1群】 13:00~14:00

座長： 吉田光由（広島大学）

座長補助： 瓜兼由紀子（広島市リハビリテーション病院）

- 1) 小脳出血、延髄梗塞で長期間嚥下不能であった14歳例  
—嚥下改善術1か月後まで—  
河本勝之（草津総合病院）
- 2) 小脳出血、小脳延髄梗塞で長期間嚥下不能であった小児例  
—嚥下改善術後の回復期リハビリテーション病棟での経過—  
椋木朋子（松江生協病院）

休憩 14:00~14:15

【第2群】 14:15~15:15

座長： 藤本保志（愛知医科大学）

座長補助： 川端直子（広島市リハビリテーション病院）

- 3) 我が国に未だ潜在する摂食嚥下医療の課題と展開  
金沢英哲（Swallowish Clinic）
- 4) 在宅老衰例に対する開業医の対応  
西山耕一郎（西山耳鼻咽喉科医院）

休憩 15:15~15:30

**【第3群】 15:30~16:30**

座長： 小野高裕（新潟大学）  
座長補助： 竹田智帆（広島大学）

- 5) 口蓋ミオクロームスを伴ったテント下出血 5 症例の臨床的検討  
山本寛和（兵庫県立リハビリテーション中央病院）
- 6) 嚥下機能改善術後経口摂取自立するも声帯奇異性運動により  
気管切開口閉鎖できなかった 2 症例  
田中加緒里（愛媛大学）

**休憩 16:30~16:45**

**【第4群】 16:45~17:45**

座長： 津田豪太（聖隷佐倉市民病院）  
座長補助： 水戸裕香（荒木脳神経病院）

- 7) リハビリテーション病院における気管切開術後管理と嚥下リハビリテーション  
小田 海（新戸塚病院）
- 8) 長期間のリハビリテーションにより経口摂食が再開できた劇症型壊死性筋膜炎の 1 例  
進藤優有美（アマノリハビリテーション病院）

**事務連絡 17:45~18:00**

7月4日 日曜日

【第5群】 9:30~10:30

座長： 荻安 誠（ヒト・コミュニケーション科学ラボ）  
座長補助： 澄田早織（広島市リハビリテーション病院）

9) 舌の腫脹を主訴に嚥下障害を訴えてきたものの球麻痺症状を呈し、  
確定診断に至らなかった一症例

山田幸子（広島大学）

10) 頭頸部食道異時性多重癌、ギランバレー症候群、低栄養を合併した摂食嚥下障害の1例  
原有紀美（富家病院）

休憩 10:30~10:45

【第6群】 10:45~11:45

座長： 吉川峰加（広島大学）  
座長補助： 春田 梓（広島大学）

11) 舌接触補助床の装着により水分摂取時の

Penetration-Aspiration Scale が改善した一症例

岩田千奈（浜松市リハビリテーション病院）

12) 量の異なる液体を嚥下する際に舌運動はどのように変化するか？

兒玉匠平（新潟大学）

閉会・次期大会長あいさつ

11:45~12:00

# アクセス

## 広島県民文化センター



### 所在地

〒730-0051 広島市中区大手町1丁目5-3

### 交通のご案内

(バス・電車：「紙屋町」「紙屋町西」で下車)

広島駅から・・・・・・・・バス、電車で約10分

広島バスセンターから・・・・・・・・徒歩約3分

広島空港から・・・・・・・・バスで約60分(エアポートリムジンバス)

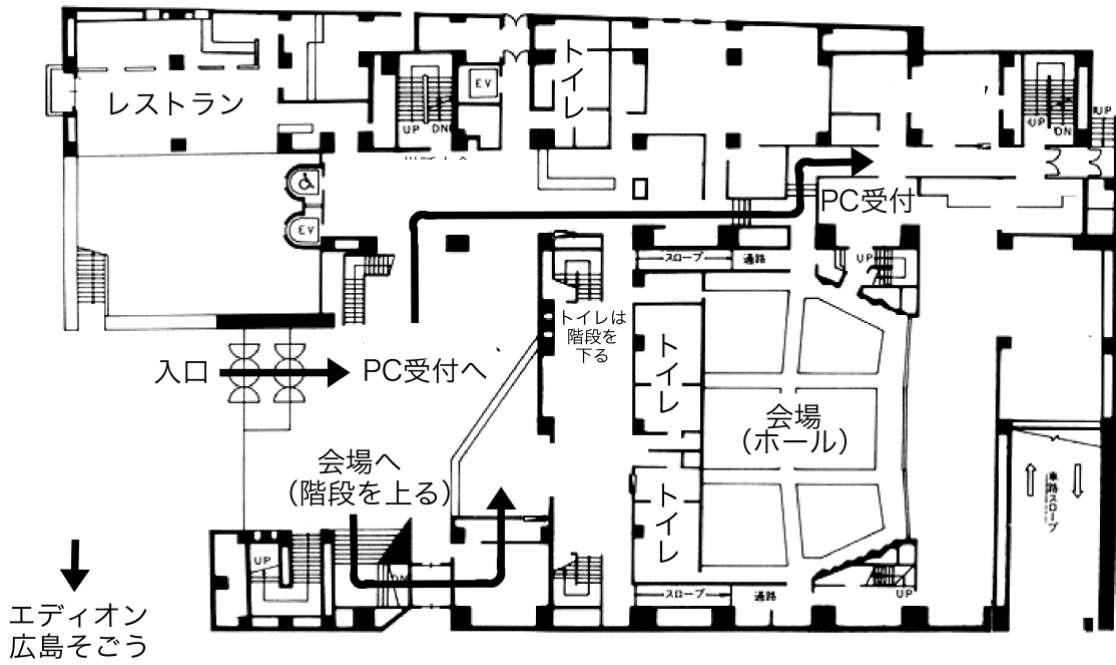
広島港から・・・・・・・・バス、電車で約30分

アストラムライン本通駅から・・徒歩約2分

### TEL / FAX

TEL 082-245-2311 / FAX 082-245-2315

# 会場内案内



# お知らせ

**【結構重要】必ずご一読ください。**

## ● 研究会に参加される方は予習をして下さい

- 1) Zoom の弱点は画面共有機能で動画を再生するとガタガタな動きになることです。嚙下造影検査 (VF) や嚙下内視鏡検査 (VE) のプレゼンが多いことも本会の特徴ですが、その動画がガタガタしたら細かな所見を取れない可能性があります。この問題に対応するために参加者全員、全てのプレゼンを先に見ておくことをお願いします。
- 2) プレゼンが7分以上あると12題全部をみて予習するのは結構辛いです。発表者は事前に提出する発表動画を作成するさいに5分を目安にしてください。研究会当日に「若干の修正を加えて」発表されることは問題ありません。
- 3) ですので、この研究会に参加するためには事前登録が必要です。原則として当日参加は受け付けませんし、会場には受付はありませんので、その点をご了承ください。

## ● 現地参加者の皆さまへ

- 1) 所属されている病院・施設に現地参加することが可能かどうかを事前にご確認ください。
- 2) 役に立つのかどうか分からない COCOA アプリですが、インストールとアクティベーションをお願いします。アプリを検索するときのキーワードは「接触確認アプリ」になります。
- 3) 会場内では常時マスク着用をお願いします。会場入り口でアルコール消毒もお願いします。
- 4) 体調不良や発熱等がある場合は参加をお控えください。
- 5) 会場入口あるいは会場内で事前参加を確認させていただくことがあります。スマホ等で「参加証明書」提示できるようにあらかじめご準備ください。ネームプレートの着用は不要です。
- 6) 当日の参加申し込みはしておりません。事前登録を必ずお願いします。そのほかのお問い合わせがある方は、会場2階右扉から入ってすぐの座席にスタッフがいますので、そちらにお声かけください。
- 7) 発表スライドの撮影・録音はお控えください。
- 8) 手荷物の預かりはしておりません。座席間隔を開けるため、座席の横においてください。
- 9) 会場となっているホールではもともと飲食ができません。このため研究会としてお茶等を用意しません。お許し下さい。



(次のページ：オンラインで研究会に参加される方へ)



## ● オンラインで聴衆として参加される皆さまへ

- 1) 事前準備 1 : 研究会に参加する時に使用するデバイス（パソコン、タブレット端末、スマホ等）に **Zoom ミーティング** アプリの最新版を予めインストール（アップデート）してください。インストール（アップデート）したら、コンピュータは再起動させる必要があります。研究会前に一度テスト接続をする時間を設けるつもりです。詳細はメールでお知らせします。
- 2) 事前準備 2 : リアルタイムにメールでお知らせすることもあると予想されます。メールのチェックを小まめにお願いします。メールを出したかどうかは HP と公式 LINE でお知らせします。
- 3) 研究会当日 Zoom アプリを立ち上げたら、「参加」をクリックして、あらかじめお知らせする「会議 ID」を入力し、その下段の「名前」に「**整理番号+平仮名氏名**」を入力してから「参加」をクリックしてください。パスワードを入力する画面になりますので、そこに会議に参加するためのパスワードを入力してください。



- 4) ミーティング画面が表示されたら、すぐに左下のマイクを「ミュート」にして、その隣のビデオアイコンを「ビデオ停止」にしてください。マイクとビデオカメラのアイコンには赤い斜線が入るはずですが。
- 5) 質問はチャットに投稿してください。座長補佐がチャットを読み込んでどの質問を採用するかを決めますので、座長から指名された方は「ミュート解除」をして、「ビデオを開始」した上で画面ごしに質問をしてください。質疑応答が一通り終わっても、その発表演題が終わるまでは、マイクもビデオをオンのままで結構ですが、一つの演題が終了したら、速やかにマイクをミュートにして、ビデオを停止してください。

## ● 会場で発表される演者の皆さまへ

- 1) 発表の1時間前までに、PC受付にお越し下さい。
- 2) 発表の開始15分前までに、会場左前、壇上への階段付近におつきください。
- 3) 一般演題の発表時間は質疑応答を含めて25分です。
- 4) プレゼンは7分以内でお願いします。プレゼンが10分を超えた場合には座長と進行（大会長の益田）の権限でプレゼンを打ち切ることがあります。時間厳守でお願いします。

## ● 会場で発表される際の注意点

- 1) 発表は、コンピューター持込でお願いします。接続コネクタはHDMIのみです。コンピューター持ち込みに不安がある方はなるべく早く、大会長にご連絡ください。
- 2) 発表データ及びPC本体は、来場受付を済ませられた後、ご自身でPC本体を会場内におりますオペレーターにお渡しください。セッション終了後ご自身でお引取りをお願いします。
- 3) 発表の15分前までに、会場内の左前方席にてお待ちください。
- 4) 電源アダプターは各自ご持参ください。
- 5) 接続トラブルなどの場合に備え、バックアップデータを必ずお持ちください。会場でプレゼンバックアップに使用するパソコン（益田 Mac と吉田 Windows）に一旦保存し、研究会終了後に事務局（益田と吉田）が責任をもって消去します。
- 6) 動画の参照ファイルがある場合は、全てのデータを同じフォルダに入れてください。

## ● オンラインで発表される皆さまへ

- 1) やむを得ない理由で当日会場にお越しいただけない場合、改めてプレゼン動画（4:3サイズのmp4形式のみ）を作り直した上で事務局までご連絡ください。その場合の締め切りは7月1日になります。
- 2) 質疑応答がありますので、プレゼン動画が流れている間にミュートを解除し、ビデオを開始した上で、座長の指示をお待ちください。

## ● 座長・座長補佐の皆さまへ

ご担当の群の開始15分前までに、会場右前、壇上への階段付近におつきください。

## ● 懇親会

残念ながら実施できません。

## ● 世話人の皆さまへ

現地での世話人会は実施しません。後日メール会議等で代用させていただきます。